

かんきつ「ありあけ」「南香」「清見」のハウス・ボックス栽培による水分制御と品質向上							
【要約】無加温ハウスでのかんきつ「ありあけ」「南香」「清見」のボックス栽培は早期結実が可能であり、水分制御により果実品質が向上する。							
三重県農業技術センター紀南かんきつセンターかんきつ担当					連絡先	05979-2-0008	
部会名	果樹	専門	栽培	対象	他のかんきつ類	分類	指導

【背景・ねらい】

柑橘類の輸入自由化及び消費の動向に対応するためには高品質果実の生産が必要である。そこで、高品質化の手法として考えられる無加温ハウスとボックス栽培を組み合わせた栽培について、「ありあけ」「南香」「清見」を供試して検討した。

【成果の内容・特徴】

- ①収穫用コンテナ(70L容)に「ありあけ」「南香」「清見」を植栽し、無加温ハウスで栽培すると、「南香」「清見」は3年生時から、「ありあけ」は4年生時から収穫でき、露地栽培に比べ早期結実が可能である(表1)。
- ②収穫前45日からの水分制御により品質が向上し、更に幼果期にも水分制御を行うことでその傾向は顕著となるが、その影響の現れかたは品種間で異なる(表2、3)。
- ③露地栽培に比べて、満開期は1か月程度早まるが、水分制御により減酸が遅れるため、収穫時期は同等かやや遅れる(表4)。
- ④じょうのう膜が薄くなり、果肉が柔らかく、食味が良い。また、果皮が平滑で、生理障害、傷果の割合が少なくなり、外観が向上する。

【成果の活用面・留意点】

- ①「ありあけ」「南香」「清見」の品質向上のための水分管理の指標として利用できる。
- ②隔年結果性が強くなりやすいので早期摘果に努める。

【具体的データ】

表1 各品種の1樹当りの収量の推移(kg)

品種	樹齢(年生)				4年間平均
	3	4	5	6	
ありあけ	0	2.65	3.08	1.51	1.81
南香	0.62	3.62	3.23	2.81	2.57
清見	1.03	4.63	1.59	3.50	2.69

表2 水分制御が果実品質に及ぼす影響

品種	Brix(露地との差)			クエン酸%(露地との差)		
	処理A	処理B	処理C	処理A	処理B	処理C
ありあけ	—(—)	12.9(—)	15.1(+2.5)	—(—)	0.90(—)	1.02(+0.13)
南香	10.6(-2.7)	12.7(+1.2)	12.5(+1.2)	0.89(-0.24)	0.93(+0.04)	1.29(+0.04)
清見	11.0(-2.1)	11.4(+0.9)	13.6(+1.7)	0.94(-0.29)	0.89(-0.12)	1.47(+0.01)

処理A: 収穫25日前から節水処理(平成元年)

処理B: 収穫45日前から節水処理(平成2年)

処理C: 幼果(果径3cmから30日間)期と収穫45日前から節水処理(平成4年)

表3 各品種の果実品質(平成4年)

品種	栽培条件	分析日	一果重	Brix	クエン	糖酸
			g		%	比
ありあけ	ハウス	12/21	175	15.1	1.02	14.8
	露地	12/21	157	12.6	0.89	14.2
南香	ハウス	1/5	197	12.5	1.29	9.7
	露地	1/5	149	11.7	1.25	9.4
清見	ハウス	3/23	171	13.6	1.47	9.3
	露地	3/23	162	11.9	1.46	8.2

*水分制御は幼果期と収穫前に行った。

露地は一般栽培のもの

表4 各品種の満開期及び収穫時期(平成4年)

品種	満開期		収穫時期	
	ハウス	露地	ハウス	露地
ありあけ	4/6	5/9	12月中旬	12月中旬
南香	4/6	5/10	1月上旬	12月下旬
清見	4/7	5/8	3月下旬	3月中旬

【その他】

研究課題名: 中晩柑橘類のハウスボックス栽培技術の開発

予算区分: 県単

研究期間: 平成5年度(昭和63~平成4年度)

研究担当者: 清水秀巳

発表論文等: